

しんがたころなういるす びえーふあいぶ
新型コロナウイルス(BA.5)が

ひろ ふせ
広がることを防ぐためにすること

ねん がつ にち
2022年8月4日

きょうとふ
京都府

新型コロナウイルス(BA.5)が広がることを防ぐためにすること

おみくろんかぶびえーふあいぶ しんがた しゅるい ひろ ふせ ひと はや
オミクロン株BA.5 <=新型コロナウイルスの種類の一つ>にかかる人がこれまでより速く
ふ びょういん なお むずか
増えています。そのため、病院で治すことが難しくなっています。

びょうき ひろ ふせ ひとり じぶん びょうき
病気が広がることを防ぐために一人ひとりが「自分が病気にならない」、

びょうき びょうき ちゅうい
「ほかの人に病気をうつさない」、「病気をひろげない」ことに注意して

こうどう
行動してください。

きかん ねん がつ にち
期間：2022年8月31日まで

しんがた ころな うい る す ひろ きかん か
※新型コロナウイルスの広がりにより期間が変わることがあります。

I 一人ひとりが病気にならないためにすること

1 いつも気をつけること

- こまめに へや くうき そと そと くうき
部屋の空気を外に出したり外から空気を入れてください。
- 飲んだり の た た ふく かいわ ますく
食べたりするときも含めて会話をするときはマスクをしてください。
- 身体 しんたい ちょうし ふあん かぞく ふく そと で
の調子に不安があるときは、家族を含めてできるだけ外に出ないでください。

(1) 自分が病気にならないために

- ・正しく ただ ますく をつ て あら ばしょ お しょうどく つか へや くうき
マスクをつける・手を洗う・いろいろな場所に置いてある消毒を使う・部屋の空気を
そと だ そと い
外に出したり外から入れたりする。
- ・「みつ みつ くうき で はい ばしょ おお ひと あつ ばしょ ひと あいだ ちか ばしょ
三つの密<=空気が出たり入ったりしない場所・多くの人が集まる場所・人との間が近い場所>」になるところへ
い ひと ひと あいだ おお はな
は行かないでください。人と人との間をひろくする。大きな声で話さない。
- ・旅行 りょこう きせい かぞく とも あ い おお ひと あつ ばしょ い
や帰省<=家族や友だちに会いに行くこと>をするとき・多くの人が集まる場所へ行くときは
き びょうき こうどう
気をつけて病気にならないための行動をしてください。

(2) ほかの人に病気をうつさないために

- ・毎朝 まいあさ ねつ からだ おんど はか ねつ せき びょういん そうだん
熱がないか体の温度を計って熱や咳があるときには病院などに相談してください。
- ・年 とし ひと びょうき ひと まわ とし ひと びょうき ひと ひと びょうき
をとった人・病気がある人・周りに年をとった人や病気の人がいる人は病気がうつりやす
ばしょ い き
い場所に行かないように気をつけてください。
- ・会社 かいしゃ しごと びょうき き はたら
や仕事で病気に気をつけながら働くことができるようにしてください。
とし ひと びょうき ひと いえ とし ひと びょうき ひと ひと
年をとった人・病気がある人・家に年をとった人や病気の人がいる人
→ いえ しごと しごと く じかん か
家で仕事ができるようにしたり、仕事に来る時間を変えるなど
- ・帰省 きせい とし ひと びょうき ひと あ あ まえ けんさ
などで年をとった人・病気がある人と会うときは、できるだけ会う前に検査をしてください。

(3) 病気をひろげないために

○会社などでひろげないために

- ・多くの人に会わないようにするために家で仕事をする・会社に行く日や時間を変える・自転車などで行くようにしてください。
- ・働く人が会社に来たときに熱がないか確かめてください。働く人やその家族に熱や咳があるときは仕事に来ないようにして病院に相談してください。
- ・会社の中で仕事をする部屋だけでなく食堂・休憩をする部屋・服を着替える部屋・タバコを吸うところでも病気がひろがらないよう気をつけてください。
- ・国の法律（特措法第24条9項）のお願い。仕事の種類に合わせた病気をひろげないためのルールを守ってください。

○学校・保育所などでひろげないために

- ・学校・保育所などで病気をひろげないためのルールを守って生活や送り迎えをしてください。
- ・毎朝子どもが熱がないか体の温度を計ってください。家族や子どもに熱や咳があるときは学校や保育所へ行かないでください。
- ・学校などが休みのときでも病気になりやすい行動はしないでください。

○病院・高齢者施設<=年をとった人が世話をしてもらいながら住む場所>でひろげないために

- ・病院や高齢者施設で病気をひろげないために決められたルールを守ってください。
- ・高齢者施設で病気がひろがらないように働く人は検査をしてください。

○自宅で治療する人や病気になった人の近くにいた人は

- ・自宅で治療するときは外に出ないでください。同じ家に住む人がいるときは生活する空間をできる限り分けてください。
- ・病気になった人の近くにいた人や同じ家に住む人が病気になった人は病気になっている可能性が高いです。急ぐ用事がないときは家の外に出ないようにしてください。

2 建物の 中で ウイルスが 入った エアロゾル <= 空気中を 飛んでいる 小さいもの > を 吸って 病気に 移らな
い ために しっかり 部屋の 空気を 外に 出したり 外から 空気を 入れて ください。

・エアコンを 使っている ときも 「窓を 開ける」「扇風機 <= 風を送る 機械 > と 換気扇 < 部屋から 空気を
追い出す ファン > を 使う」など、

こまめに 部屋の 空気を 外に 出したり 外から 空気を 入れて ください。

< 二酸化炭素を はかる ものがある ときは、1,000ppmより 少ないように してください >

・家や 会社での 会議などで 同じ 場所に 長くなる ときは 病気に 移る 可能性が 高まります。部屋の
空気を 外に 出したり 外から 空気を 入れる ことに 注意して ください。

・特に 高齢者施設、学校、保育所などでは 空気の 入り口と 出口を 作って 空気が よく 流れるよう
に してください。

・子どもたちが 多く 集まる ところでは 周りの 大人が 空気の 出し入れを しっかりと 病気を 広げな
いように 気をつけて ください。

3 正しく マスクを しましょう

・建物の外でも 人との間が 狭い (2 m 以下) 場所で 会話を するときは マスクを しましょう

・建物の中でも 人との間が 広いとき (2 m 以上) や 会話を ほとんどしない 場所は マスクの 必要
は ありません

4 飲んだり 食べたり するときの 病気を ひろげないための 取り組み

飲んだり 食べたり するときには

・病気を ひろげないための ルールを 守っている店 (認証店※) を 利用しましょう。

・話を するときは マスクを しましょう。

・店では 大きな声で 話を しないように しましょう。

・席と席の 間を 広く しましょう。店に 長い時間 いないように しましょう。

※ 認証店 : 京都府が 決めた ルールを 守っている店

・アクリル板を 置く

・店の中の 空気を 出して 外から 空気を 入れることなど

5 会社の 活動を 続けましょう

会社の 活動を 続ける ために 症状がある 人は 休んで ください。

家で 仕事が できるように したり 仕事に 来る 時間 を 変える など 多くの 人が 会わない ように して
ください。

II ホール<=ほーる大きな会場>などで行事<=ぎょうじイベント>をするときについて

いりぐち おお ひと あ
入口で多くの人があ
われないようにするなど 仕事しごとの種類しゅるいにあわせた 病気びょうきを 広げないための
るーるるーるを しっかり 守まもってください。

III ワクチンを打ってください

わくちん せつしゅ ひと う
・ワクチン接種せつしゅをしたい人は できるだけ 打うってください。

わくちん せつしゅ ひと がっこう い こ ちから う
・ワクチン接種せつしゅをしたい人 (学校がっこうに行っている 子どもも 受うけることができます)が 行いけるように 会社かいしゃ
や 学校がっこうは 協力きょうりやくしてください。

さい いじょう ひと びょうき ひと びょうき
・60歳さい以上いじょうの人や 病気びょうきがある人ひとは 病気びょうきが ひどく ならないように

かいめ わくちん せつしゅ う
4回目かいめの ワクチン接種せつしゅを 受うけてください。

かいめ せつしゅ わくちん ちから もど
・3回目かいめの 接種せつしゅを したら ワクチンわくちんの力ちからが 戻もどってきます。

う ひと はや せつしゅ
まだ 打うっていない人は 早はやめに 接種せつしゅをしてください。

IV 検査を受けてください

びょうき うつ ふあん かん しょうじょう ひと むりょう けんさ う
・病気びょうきが 移うつることに 不安ふあんを感じる 症状しょうじょうがない人は 無料むりょうの 検査けんさを 受うけてください

くに ほうりつ とくそうほう だい じょう だい こう ねが
(国くにの法律ほうりつ (特措法とくそうほう 第24条だい 第9項だい) による 願ねがい)

しょうじょう かる びょうき か のうせい ひく ひと びょういん い か
・症状しょうじょうが 軽かるくて 病気びょうきが ひどくなる 可能かのうせい性が 低ひくい人は できるだけ 病院びょういんに 行いく 代かわりに

びょういん くぼ けんさきつと つか けんさ
病院びょういんなどで 配くぼる 検査けんさキットを 使つかって 検査けんさしてください。

V 救急車は本当に必要なときにだけ呼んでください。

きゅうきゅうがいらい びょういん はや なお あぶ かんじゃ きゅうきゅうしゃ しょうじょう
・救急外来きゅうきゅうがいらい<=病院びょういんで 早はやく 治なおさないと 危あぶない 患者かんじゃを みる ところ>と 救急車きゅうきゅうしゃは、このままでは 症状しょうじょうが

あぶ ほんとう ひつよう りよう
危あぶないときなど 本ほん当とうに 必ひつ要ような ときだけ 利り用ようして ください。

しゃーが じぶん びょういん い きゅうきゅうしゃ よ ぶか まよ でんわ そうだん ばんごう
・# 7 1 1 9 <=自分じぶんで 病院びょういんに 行いくか、救急車きゅうきゅうしゃを 呼よぶか 迷まよったときに 電話でんわで 相そう談だんできる 番ばん号ごう>を できるだけ
使つかってください。